

乾将万

ピアノ・リサイタル

音楽祭への旅路

[予定プログラム]

L.v.ベートーヴェン (F.リスト編曲)

交響曲第5番「運命」

op.67 ハ短調

ピアノ/乾将万 ※プログラムや出演者が一部変更となる場合がございます。

2026

4.25 (土)

10:30 開演 (10:00 開場) ※11:30 終演予定

茨木市文化・子育て複合施設おにクル

きたしんホール

入場無料

※予約推奨・カンパ歓迎

※全席自由、未就園児の入場不可

INUI MUSIC SALON ☎080-4761-6820

主催：INUI MUSIC SALON 後援：茨木市、(公財)茨木市文化振興財団

【公式 LINE アカウント】
こちらからもご予約承ります。



ベートーヴェン（リスト編曲）/交響曲第5番「運命」ハ短調 op.67（ピアノ独奏版）

「運命がこの扉を叩く」と伝えられる四つの音型——冒頭の“タタタターン”は、ベートーヴェンが交響曲において音楽史を大きく前進させた象徴的なモチーフである。動機が全曲を貫き、緊張と解放の巨大なドラマを形成する構成力は、19世紀以降の作曲家に決定的な影響を与えた。1808年の初演当時、ヨーロッパはナポレオン戦争の渦中にあり、難聴と闘うベートーヴェン自身の精神とも重ねられてきた強靱な音楽である。

その革新的な交響曲を、ピアノ一台で完全に再現しようとしたのがフランツ・リストである。リストは自らの超絶技巧と作曲家としての洞察を総動員し、原曲のオーケストラの勢い、楽器の色彩、構築美を限界まで凝縮した。単なる“編曲”ではなく、交響曲をまるごとピアノで鳴らし切るという、当時としては極めて野心的な創造であった。

このピアノソロ版は、全ての音を両手と十本の指で担うため、技術的要求は非常に高い。力強い和音の連打、細密なパッセージ、広大な音域の跳躍、さらにベートーヴェンが生んだ構造的緊張を一人で支え続ける音楽的持久力が問われる。ピアニストは、オーケストラの対話や響きの層を想像力によって再構築しなくてはならない。



乾 将万（いぬい まさかず） | ピアニスト・音楽プロデューサー・教育者

1991年、大阪府茨木市生まれ。大阪音楽大学器楽学科ピアノ専攻を首席で卒業後、同大学大学院を修了。ハンガリー政府給付奨学金「Stipendium Hungaricum」を受給し、ハンガリー国立リスト音楽院（リスト・フェレンツ音楽大学）に留学。2018年、完全帰国。現在はINUI MUSIC SALON 代表として、音楽祭をはじめとする各種コンサートの企画・主催、映像制作、CD録音、ピアノ指導など、音楽を軸とした多彩な活動を展開。加えて、大阪こども専門学校非常勤講師、大阪音楽大学演奏員として教育分野にも力を注いでいる。年間50公演を超える演奏活動を行う一方、大阪府および各自治体の文化事業においては、専門人材・学識者としての役割も担う。

 **おにクル de 音楽祭**
Onikuru Music Festival 2026

スーパークラシック アンサンブル

吹田発の弦楽オーケストラとスペシャルコラボ！

 ピアノ/乾将万  ピアノ/厚本美美香  ソプラノ/野々村彩乃  ピアノ/赤松舞音

2026.9.21（月・祝）11:00 開演（12:30 終演予定）

茨木市文化子育て複合施設おにクルゴウダホール
指定席 1,500 円 自由席 1,000 円

夢のコンチェルト出演をかけたオーディションを開催！
【オーディション】3/25（水）おにクルきたしんホール・時間未定、3/26（木）会場・時間未定。

 **おにクル de 音楽祭**
Onikuru Music Festival 2026

ドイツ・ドレスデンより来日！
指揮/マティアス・ユング

ザクセン声楽アンサンブル



2026.9.21（月・祝）15:00 開演（16:30 終演予定）

茨木市文化子育て複合施設おにクルゴウダホール

ザクセン声楽アンサンブルとゴウダホールで交流ができる！ワークショップも同日開催
【ワークショップ】9.21（月・祝）17:30 スタート/18:30 終了
※ワークショップは2026年4月1日より受付開始。